

新型コロナウイルス感染症から、ご利用者様の命と生活を守る



まなざしのさき
支えたいヒトがいる

contents

- 特養ショートステイ
青空喫茶 / セブチ会 ほか
- デイサービスセンター
バラ園見学 / 民謡まつり ほか
- 長寿健康教室だんだん
越後丘陵公園に出かける ほか
- 高齢者センターみやうち
コロナ禍での営業 ほか
- 地域包括支援センター
コロナ禍の影響、フレイルに注意 ほか
- 居宅介護支援事業所
介護報酬改定に向き合う ほか
- まちだ園からのお知らせ

日頃より、当法人の事業運営にたくさんのお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。当法人は令和三年六月に創立三十年を迎えました。年月を経て、環境は大きく変わりましたが、私たちの介護に対する思いは不易であり、皆さまから安心して穏やかな時間をお過ごしただけの身近な「まちだ園」であるよう、自らのサービスを研鑽してまいりたいと存じます。

市内は感染禍が収束する兆しが見通せず、落ち着いた状況です。私たちも活動や交流を思いつくばかりで停滞を余儀なくされ複雑な思いです。しかし、感染禍だからこそできることを求め、ご利用者とご家族の安全な暮らしを最優先にしつつ、些少ながら進めてまいりたいと存じます。この度の「広報まちだ」から、ご利用者の暮らしがより私たちの取り組みがお伝えできたら幸いです。

未だ多くの不安がありますが、何卒ご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。



巻頭ご挨拶

園長 高橋 直樹



写真(上)：永年勤続者表彰式。理事長がねぎらいの言葉を述べる。
写真(下)：受賞者からのお礼の言葉。20年、10年、これまでの年月をふり返った。



写真(上)：園内研修の様子。Zoomなど利用し、会場を複数に分けて、密を回避し実施した。サービスの質向上のために研修はかかせない条件。

編集・発行



社会福祉法人長岡福寿会
〒940-1111 新潟県長岡市町田町540番地
TEL 0258-39-3927・FAX 0258-39-3946

まちだ園 長岡 🔍 検索



#まちだ園



表紙の人

デイサービスの食事場面。
まなざしの先には、ご利用者の方。真剣に仕事に向き合うプロとしての気持ちが伝わってくる写真です。

編集後記

暑い日が続いたこの夏、皆様お元気にお過ごしでしょうか。おかげさまで、広報まちだ116号を無事に発行することができました。新しい日常が早く落ち着いてくれることをいつも願っております。カメラを構えますと、ご利用者の皆様、そしてスタッフの笑顔に会えました。人の生きる強さ、きずなの大切さ、そういったことをカメラ越しに感じながら制作にあたらせていただきました。広報まちだは、新しく生まれ変わろうとしております。お手にとって読みいただいた皆様、本当にありがとうございました。

今年度に入り、長岡保養園の協力のもと、看護職員を中心としてスタッフ同士協力し合い、ご利用者のみなさま、そしてスタッフに対するワクチン接種を無事に終えることができました。

それから、ご利用者のみなさまに、安心してまちだ園でお過ごしただけです。サービスの質の維持、向上のため、会場を分け、密を避けながら園内での研修を行ってまいりました。全国的に介護人材確保が困難と言われる中で、この4月から新卒職員を迎えることができました。先輩スタッフの指導よろしく、明るく、元気ががんばっています。

未だ感染終息とはならないですが、7月に永年勤続者表彰式を行うことができました。今年度は、法人20年表彰、法人10年表彰、全国老協・県老協15年表彰と、8名の方の表彰を行うことができました。



写真(上)：コロナワクチン接種の準備を行う看護職員。緊張で張り詰めた空気が漂う。
写真(右下)：コロナワクチン接種の様子。多くのスタッフが、協力しあい無事に接種を終えることができた。
写真(左下)：感染予防対策のもとでの散髪。感染拡大時には、ご利用者の方のために、床屋さんにも協力をお願いした。

がまんの日々から
新しい日常生活へ
期待をこめて

「昨年からのコロナウイルス感染拡大により、今までの生活が制限されることが多く、我慢の日々でした」。そう話してくれたのは、星野久美子看護係長。コロナワクチン接種をはじめ、ご利用者様の健康管理の先頭に立つ看護職員をまとめる役割を担っている。星野係長は、「先日、園庭で久しぶりに青空喫茶を行いました。それから七夕会もできました。できる方法を考へて行った行事でしたが、ご利用者様と笑顔あふれる時間を持つことができ、職員として幸せを感じました。6月にワクチン接種が現実となりました。新しい日常生活を守りつつ、ご利用者様の楽しみを作っていきたい」と。

「まるで夢の国の主人公」
ご利用者様が輝くサービス

多彩なサービスメニューと、元気なスタッフが自慢のデイサービス。3つのデイサービスを束ねる、高橋弘通所事業統括責任者は、その魅力について「私たちのデイサービスでは、利用者みなさんがとって輝いています。家庭の生活から一歩離れた場所でも、まるでみなさんが、夢の国の主人公になったように楽しんでいらつしやいますよ」と、さつそく素敵な言葉が飛び出した。「仲間と将棋や麻雀などの娯楽を楽しんだり、折り紙や裁縫など作品作りに没頭したり、世間話に夢中になったり。みなさん思い思いの楽しみ方で一日を過ごしています。6月の季節行事「民謡祭り」では花笠音頭や十町小唄など、職員の踊りに合わせ一緒に踊り楽しむこともできました。今後みなさんの希望や意欲につながる楽しみや活動を企画していきますよ」と笑顔で話していた。



写真(上): 機能訓練風景。スタッフがさまざまなメニューを企画し、機能訓練を行っている。



写真(上): バラ園見学。バラの見事な咲きっぷりにみなさんから「歓声」があがる。



写真(上): エクササイズ、健康マージャン、手指トレーニングの風景。この日を楽しみにしている利用者の方もいる。



写真(上): 園庭にて。大好きな畑。農作業の経験から力が入るお2人。



写真(左): スタッフも畑作りのアドバイスも受けながら、教える、伝えることは、はりあいつながる。



写真(上): デイ自慢の元気トリオ!!



「ご利用者のみなさんとバラ園を見学した時の写真です。きれいな青空の日でした。バラの花をバックに記念撮影もしました。みなさんの笑顔がわたしの元気に繋がっています。」



写真(上)(左下): スタッフの踊りに思わず手拍子と歓声があがる。



写真(上): 七夕行事。ギター演奏が加って楽しいひとときになった。
写真(左下): 七夕御膳。できたてのおいしさに思わず笑顔になる。
写真(右下): 浴衣姿のスタッフと七夕飾りの前でパチリ!!



「青空喫茶に行った時の写真です。ご利用者さんがとっても喜んでくださいました。久しぶりの外での行事でした。またいっしょに行きましょうね!」



写真(上): 久しぶりの園外での行事にスタッフも力が入る。利用者の方も笑顔、笑顔!! 外の開放感に気持ちもやわらかく。

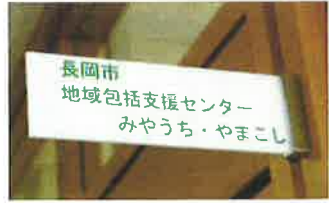


写真(上): 環境委員会を中心に春の環境整備活動(正面玄関前)を行った。



写真(左): 正面玄関の鉢植えと緑あふれるケヤキ通り
写真(上): 東屋付近。東屋の塗装作業も行われた。

地域包括支援センター みやうち・やまこし



写真(上): スタッフの気さくな人柄に安心。まずはご相談ください。

「こんにちは、長岡市地域包括支援センターみやうち・やまこしです。」
 明るく、元気に応じてくれたのは、金子希世子センター長。
 「地域包括支援センターは、65歳以上の方の長岡市の公的相談窓口。「みやうち・やまこし」が担当する地域は、宮内・十日町・六日市・山通・太田・山古志地区。相談は無料で秘密は厳守します。ご希望に応じて自宅に訪問します。まずはご相談ください」と話していた。
 ここ最近の地域の様子について、金子センター長から、「フレイル(加齢に

コロナ禍 フレイルにご注意を

よる心身の衰え)が心配」とのこと。
 「6月以降、コロナ禍の影響があちこちに見られます。感染拡大防止措置のため、サービス事業所が休業して利用できない時期がありました。ご本人やご家族が感染を恐れて外出を控え、体操教室やサークル活動を休み、また近所や仲間とお茶飲みも自粛して、皆感染に気を付けていました。しかしその結果、高齢者の下肢筋力が低下し長く歩けなくなり、認知機能が衰え覚えていられなくなり、誰とも話さない日々が続いてうつ傾向になるケースもありました。コロナ対策の影響によるフレイルが心配されます。早く感染が落ち着き安心して外出できるように頑張ってほしいです」と、これからも地域包括支援センターの活動に期待です。

居宅介護支援事業所 まちだ園・みやうち



写真(上): これからご利用者様のもとに向かう。訪問を心待ちにしてください。訪問もいらっしやる。

経験豊かなケアマネジャーが揃う、居宅介護支援事業所まちだ園と居宅介護支援事業所みやうち。
 「ご利用者様、そしてご家族様に寄り添う姿勢をひとつのモットーに日々勤務している。
 今年は、4月に介護報酬改定があり、非常に慌ただしい年度のスタートとなった。ここで中心となって働いている、佐藤恵子主任ケアマネジャーは、「今年4月に介護保険法の改正がありました。私たち居宅介護支援事業所では、改正の内容を確認しながら、日々の見直しを行っています。ご利用者様、ご家族様のお話をお聞きする中でどのような生活をしたかと考えていらっしゃるのか、その意向を踏まえたうえで、どなたにもわかりやすい計画書を作成し、関係のある介護サービス事業所と連携をとり、皆様安心して在宅生活を送ることができるようにお手伝いさせていただきたいと思っ



写真(右): 字ひ合うスタッフ。制度の改正など、新たな課題にもお互いに助け合い高め合う。

みなさまの安心のために 高めあうケアマネジャーの存在

「います」と話していた。
 みなさまの安心のためにお互いに研鑽し合い、自信をもって仕事に向き合っている姿がみえた。

長寿健康教室 だんだん

いつも以上の 楽しみ方ができるサービス

まちだ園、注目のサービス、長寿健康教室だんだん。
 週1回(木曜日)、まちだ園の地域交流センター多目的ルームで行われている。送迎付きの介護予防教室。多彩なメニューが自慢。最近ですと、貯筋プログラム、民謡プログラム、余暇プログラム、そしてわくわくアートといった講座が行われている。時には、みなさんと越後丘陵公園のバラ園を見学に行ったりも。



写真(上): 久しぶりに芝生の感触を楽しむ一行。
 写真(右): 越後丘陵公園にて。咲き誇るバラのアーチに感激!!



写真(左): わくわくアート。新しい仲間との交流も魅力。
 写真(上)(右上): 完成した作品を前にパチリ!
 写真(右): 元気なスタッフが楽しい!



担当する水澤智絵美コーディネーターは、インストラクターが同行するメニューでは、普段歩かないくらいの距離をみなさん歩かれま。参加者のみなさんの雰囲気もよく、いつも以上の楽しみ方ができるようです。
 わくわくアートのように、「ご利用者様自身で作成し、自宅に帰って楽しむことのできる活動もあります。これからもみなさまが積極的に参加し、楽しめる活動を提案していきたい」と笑顔で話していた。
 これからも目が離せないサービスである。

高齢者センター みやうち



写真(右): 高齢者センター 南部地域の福祉の拠点

長岡市南部地域の 福祉の拠点として

地域の高齢者の皆様が、健康で、明るい生活を過ごすことができるよう、様々な相談に応じたり、健康の増進や教養の向上、レクリエーションなどの総合的な施設として、多くの市民から利用され、愛されている施設。若月悟センター長に、最近の様子を聞いてみたところ、「昨年来のコロナ禍の影響で6/1(火)と6/15(火)の間は休館を余儀なくされました。また営業中の日も、マスク着用・一日の滞在時間の制限・日曜日のお風呂中止等、ご利用者様には通



写真(上・右): エントランスには毎月、地域にお住いの皆様からの作品を展示。来館者に大好評。

常時に比べ様々なご不便や制約をお願いしている現状です。
 このような状況下ですが、食堂も営業を続けており、例年の半分以下の人数ではありますが、毎日30〜40名程の方にご利用をいただいております。なかなか先が見えない状況が続いていますが「センターから感染者を一人も出さない」をモットーに対策をしっかり取り、安心・安全のセンターであり続けられるよう、職員一同奮闘努力をしております」と、もうしばらく皆様の協力をお願いいたします。